

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

REC'D 21 APR 2005

WIPO PCT

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
[PCT36 条及び PCT 規則 70]

出願人又は代理人 の書類記号 664135	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/006290	国際出願日 (日.月.年) 30.04.2004	優先日 (日.月.年) 07.05.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ G11B27/00, 20/12, H04N5/91		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. 附属書類は全部で 12 ページである。

指定されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)

第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。 (実施細則第 802 号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
 第 II 欄 優先権
 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 第 IV 欄 発明の單一性の欠如
 第 V 欄 PCT35 条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 第 VI 欄 ある種の引用文献
 第 VII 欄 国際出願の不備
 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 25.02.2005	国際予備審査報告を作成した日 11.04.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 鶴谷 裕二 電話番号 03-3581-1101 内線 3591
	5Q 3243

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
 PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
 PCT規則12.4にいう国際公開
 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第 1-34 ページ、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第 3-9, 11, 14-15, 17, 19, 21, 23-25, 27, 29-31, 37, 39 項、出願時に提出されたもの
第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 1-2, 10, 12-13, 16, 18, 20, 22, 26, 28, 32-36, 38 項*、25.02.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

図面

第 1-30D ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表(具体的に記載すること)
 配列表に関するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかつたものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表(具体的に記載すること)
 配列表に関するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-39	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 _____	有
	請求の範囲 1-39	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1-39	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：JP 2000-182358 A (三洋電機株式会社),
2000. 06. 30
 文献2：JP 2000-40346 A (三洋電機株式会社),
2000. 02. 08
 文献3：JP 2002-10203 A (シャープ株式会社),
2002. 01. 11
 文献4：JP 2001-275083 A (ソニー株式会社),
2001. 10. 05
 文献5：JP 2000-228081 A (シャープ株式会社),
2000. 08. 15
 文献6：JP 11-38954 A (三洋電機株式会社, 株式会社ダイナウエ
ア), 1999. 02. 12
 文献7：JP 11-353856 A (日本コロムビア株式会社),
1999. 12. 24
 文献8：JP 2002-334511 A (株式会社ソニー・コンピュータ
エンタテインメント), 2002. 11. 22

請求の範囲 1-2, 5-6, 12-13, 15-23, 26-29, 31-34, 36, 38 に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1 (段落番号【0002】-【0014】,【0020】-【0045】，第1-7図) と新たに引用した文献2 (段落番号【0013】-【0031】，第1-8図) とにより進歩性を有しない。文献2に記載された複数の記録媒体に跨つて記録されたデータに共通の識別情報を付与する構成を、文献1に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 3, 4 に係る発明は、文献1、文献2、及び国際調査報告で引用された文献3 (段落番号【0026】-【0037】，第3-4図) とにより進歩性を有しない。文献3に記載されたフレーム周波数の異なる映像データと音声データとを分割する際に映像データと音声データとの時間的な分割位置を一致させる構成を、文献1に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 7 に係る発明は、文献1、文献2、文献3、及び国際調査報告で引用された文献4 (段落番号【0175】-【0176】) とにより進歩性を有しない。文献4に記載された分割編集の際に各データの開始フレームを記録する構成を文献1に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V. 2. 欄の続き

請求の範囲 8, 14 に係る発明は、文献 1、文献 2、及び国際調査報告で引用された文献 5（段落番号【0037】—【0039】）とにより進歩性を有しない。文献 5 に記載された最大ビットレートを用いて空き容量が足りるかどうかを判断する構成を、文献 1 に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 9 に係る発明は、文献 1、文献 2、及び国際調査報告で引用された文献 6（段落番号【0036】—【0037】、第 5 図）とにより進歩性を有しない。文献 6 に記載された G O P の切れ目で分割を行う構成を、文献 1 に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 10, 35 に係る発明は、文献 1、文献 2、及び国際調査報告で引用された文献 7（段落番号【0016】、第 2 図）とにより進歩性を有しない。文献 7 に記載された複数の記録再生装置を用いて複数の記録媒体に連続記録を行う構成を、文献 1 に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 11, 24-25, 30, 37, 39 に係る発明は、文献 1、文献 2、及び国際調査報告で引用された文献 8（段落番号【0088】—【0089】）とにより進歩性を有しない。文献 8 に記載された記録媒体固有の製造番号を用いて記録媒体を識別する構成を、文献 1 に記載された記録再生装置に付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲

1. (補正後) 特定の識別 ID を有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを第 1 ストリーム及び第 2 ストリームに時間分割し、前記第 1 ストリームを第 1 ファイルとして第 1 記録媒体に記録し、前記第 2 ストリームを第 2 ファイルとして第 2 記録媒体に記録する記録装置であって、

前記第 2 ファイル又は前記第 2 記録媒体に関する第 1 管理情報を前記第 1 ファイルと関連付けて前記第 1 記録媒体に記録するか、又は、

前記第 1 ファイル又は前記第 1 記録媒体に関する第 2 管理情報を前記第 2 ファイルと関連付けて前記第 2 記録媒体に記録する
と共に、

前記第 1 ストリームと前記第 2 ストリームに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別 ID を、前記第 1 ファイルに関連づけて前記第 1 記録媒体に記録し、前記第 2 ファイルに関連付けて前記第 2 記録媒体に記録する、記録装置。

2. (補正後) 特定の識別 ID を有し、連続する映像信号のストリームと連続する音声信号のストリームとを、互いに同期した第 1 映像ストリーム及び第 1 音声ストリームと、互いに同期した第 2 映像ストリーム及び第 2 音声ストリームとに時間分割し、前記第 1 映像ストリーム及び前記第 1 音声ストリームを第 1 映像ファイル及び第 1 音声ファイルとして第 1 記録媒体に記録し、前記第 2 映像ストリーム及び前記第 2 音声ストリームを第 2 映像ファイル及び第 2 音声ファイルとして第 2 記録媒体に記録する記録装置であって、

前記第 2 映像ファイル、前記第 2 音声ファイル又は前記第 2 記録媒体に関する第 1 管理情報を前記第 1 映像ファイル及び前記音声ファイルと関連付けて前記第 1 記録媒体に記録するか、又は、

前記第 1 映像ファイル、前記第 1 音声ファイル又は前記第 1 記録媒体に関する第 2 管理情報を前記第 2 映像ファイル及び前記第 2 音声ファイルと関連付けて前記第 2 記録媒体に記録する
と共に、

前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルと、前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルとに共通した前記連続する映像信号及び音声信号のストリームの前記識別IDを、前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルに関連付けて前記第1記録媒体に記録すると共に、前記識別IDを前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録する、記録装置。
5

3. 前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルの記録終了時刻を互いに同一とすると共に、前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルの記録開始時刻を互いに同一とすることを特徴とする請求項2に記載の記録装置。

10 4. 前記映像信号のフレーム周波数と前記音声信号のサンプル周波数とが互いに異なる場合に、所定数の映像フレームごとに所定のサンプル数の音声信号を対応させて前記映像信号と前記音声信号とを互いに同期させることを特徴とする請求項2又は3に記載の記録装置。

15 5. 前記第1又は第2管理情報を管理情報ファイルに書き込むことを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の記録装置。

6. 前記第2記録媒体に関する第1管理情報又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報は、記録媒体を特定するID情報を含むことを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の記録装置。

20 7. 前記第1又は第2ファイルの記録開始の先頭フレームのシーケンス番号を前記第1又は第2管理情報ファイルに記録することを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

25 8. 前記映像信号がMPEG圧縮された映像信号である場合に、各GOPの開始時点で下記式により連続する2GOP終了時点における前記第1映像ファイル及び第1音声ファイルのファイルサイズ増加量Dtを予測し、前記第1記録媒体の記録可能な残量と前記Dtとを比較して、前記残量が前記Dtより少ない場合には記録先の切り替えるように判断することを特徴とする請求項2に記載の記録装置。

$$Dt = (Da \times 2M) + ((Rmax / Fnum) \times 2M)$$

M: 1GOPのフレーム数

D_a : 1フレーム単位でのAudiodataサイズ

R_{max} : VBRでのMPEGの最大レート (Maxレート)

F_{num} : フレーム周波数

9. 前記映像信号がMPEG圧縮された信号である場合に、前記映像信号のストリームをGOPの先頭の直前で時間分割することを特徴とする請求項1記載の記録装置。

10. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割するストリーム分割手段と、

10 第1記録媒体を格納して、前記第1ストリームを第1ファイルとして前記第1記録媒体に記録する第1記録ドライブと、

第2記録媒体を格納して、前記第2ストリームを第2ファイルとして前記第2記録媒体に記録する第2記録ドライブと、

前記第2ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1記録ドライブに送って、前記第1ファイルと関連付けて前記第1記録媒体に記録させるか、又は、前記第1ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2記録ドライブに送って、前記第2ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録させる、と共に、前記第1ストリームと前記第2ストリームに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDを、前記第1ファイルに関連づけて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録する制御部と
を備えることを特徴とする記録装置。

11. 前記第1管理情報は、前記第2記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報であり、前記第2管理情報は、前記第1記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報であることを特徴とする請求項1から10のいずれか一項に記載の記録装置。

12. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割するステップと、
前記第1ストリームを第1ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと

前記第2ストリームを第2ファイルとして前記第2記録媒体に記録するステップと、

5 前記第2ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1ファイルと関連付けて前記第1記録媒体に記録するか、又は、前記第1ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと

10 前記第1ストリームと前記第2ストリームに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDを前記第1ファイルに関連づけて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと

15 を含むことを特徴とする記録方法。

13. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号のストリームと連続する音声信号のストリームとを、互いに同期した第1映像ストリーム及び第1音声ストリームと、互いに同期した第2映像ストリーム及び第2音声ストリームとに時間分割するステップと、

前記第1映像ストリーム及び前記第1音声ストリームを第1映像ファイル及び第1音声ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと、

20 前記第2映像ストリーム及び前記第2音声ストリームを第2映像ファイル及び第2音声ファイルとして前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第2映像ファイル、前記第2音声ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルと関連付けて前記第1記録媒体に記録するか、又は、前記第1映像ファイル、前記第1音声ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルと、前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルとに共通した前記連続する映像信号及び音声信号のストリームの前記識別IDを、前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルに関連付けて前記第1記録媒体に記録すると共に、前記識別IDを前記第2映像ファ

イル及び前記第2音声ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと

を含むことを特徴とする記録方法。

14. 前記映像信号がMPEG圧縮された映像信号である場合に、各GOPの
5 開始時点で下記式により連続する2GOP終了時点における前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルのファイルサイズ増加量Dtを予測し、前記第1記録媒体の記録可能な残量と前記Dtとを比較して、前記残量が前記Dtより少ない場合には記録先の切り替えを判断するステップをさらに含むことを特徴とする請求項13に記載の記録方法。

10 $Dt = (Da \times 2M) + ((Rmax / Fnum) \times 2M)$

M: 1GOPのフレーム数

Da: 1フレーム単位でのAudiodataサイズ

Rmax: VBRでのMPEGの最大レート (Maxレート)

Fnum: フレーム周波数

15. 記録先を前記第1記録媒体から前記第2記録媒体に切り替えるステップをさらに含むことを特徴とする請求項12から14のいずれか一項に記載の記録方法。

16. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを順次、第1ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと、
20 前記ストリームのうち前記第1ファイルに続く箇所を順次、第2ファイルとして第2記録媒体に記録するステップと、

前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1ファイルと関連付けて前記第1記録媒体に記録するステップと、

前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連続する映像信号又は音
25 声信号のストリームの前記識別IDを前記第1ファイルに関連付けて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと
を含む、記録方法。

17. 前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2ファイルと関連付け

て前記第2記録媒体に記録するステップをさらに含むことを特徴とする請求項16に記載の記録方法。

18. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを順次、第1ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと、

5 前記ストリームのうち前記第1ファイルに続く箇所を順次、第2ファイルとして前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連続する映像信号又は音

10 声信号のストリームの前記識別IDを前記第1ファイルに関連づけて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと

を含む、記録方法。

19. 記録先を前記第1記録媒体から第2記録媒体に切り替えるか否かを判断

15 するステップと、

記録先を前記第1記録媒体から前記第2記録媒体に切り替えるステップと
をさらに含むことを特徴とする請求項16から18のいずれか一項に記載の記録
方法。

20. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号及び音声信号のス

トリームを順次、互いに同期する第1映像ファイル及び第1音声ファイルとして
第1記録媒体に記録するステップと、

前記ストリームのうち前記第1映像及び音声ファイルに続く箇所を順次、互い
に同期する第2映像ファイル及び第2音声ファイルとして第2記録媒体に記録す
るステップと、

25 前記第2記録媒体を特定する第1管理情報を前記第1映像及び音声ファイルと
関連付けて前記第1記録媒体に記録するステップと、

前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルと、前記第2映像ファイル及
び前記第2音声ファイルとに共通した前記連続する映像信号及び音声信号のス
トリームの前記識別IDを前記第1映像ストリーム及び前記第1音声ストリームに

関連付けて前記第1記録媒体に記録すると共に、前記識別IDを前記第2映像ストリーム及び前記第2音声ストリームに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと
を含む、記録方法。

5 21. 前記第1記録媒体を特定する第2管理情報を前記第2映像及び音声ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップをさらに含むことを特徴とする請求項20に記載の記録方法。

22. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号及び音声信号のストリームを順次、互いに同期する第1映像ファイル及び第1音声ファイルとして
10 第1記録媒体に記録するステップと、

前記ストリームのうち前記第1映像及び音声ファイルに続く箇所を順次、互いに同期する第2映像ファイル及び第2音声ファイルとして前記第2記録媒体に記録するステップと、

15 前記第1記録媒体を特定する第2管理情報を前記第2映像及び音声ファイルと
関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第1映像ファイル及び前記第1音声ファイルと、前記第2映像ファイル及び前記第2音声ファイルとに共通した前記連続する映像信号及び音声信号のストリームの前記識別IDを前記第1映像ストリーム及び前記第1音声ストリームに関連付けて前記第1記録媒体に記録すると共に、前記識別IDを前記第2映像ストリーム及び前記第2音声ストリームに関連付けて前記第2記録媒体に記録する
20 ステップと
をさらに含む、記録方法。

23. 記録先を前記第1記録媒体から第2記録媒体に切り替えるか否かを判断するステップと、

25 記録先を前記第1記録媒体から前記第2記録媒体に切り替えるステップと
をさらに含むことを特徴とする請求項16から21のいずれか一項に記載の記録方法。

24. 前記第1管理情報は、前記第2記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報を特徴とする請求項12、13、15～21、23

のいずれか一項に記載の記録方法。

25. 前記第2管理情報は、前記第1記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報を特徴とする請求項12～16、18、19、21～23のいずれか一項に記載の記録方法。

5 26. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割するステップと、前記第1ストリームを第1ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと

、
前記第2ストリームを第2ファイルとして前記第2記録媒体に記録するステップと、

前記第1ファイルと関連付けて前記第2ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1記録媒体に記録するステップと、

前記第1ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2ファイルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと、

15 前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDを前記第1ファイルに関連付けて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと
をコンピュータに実行させる記録プログラム。

20 27. 記録先を前記第1記録媒体から前記第2記録媒体に切り替えるステップをさらに含むことを特徴とする請求項26に記載のコンピュータに実行させる記録プログラム。

28. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームを順次、第1ファイルとして第1記録媒体に記録するステップと、

25 前記ストリームのうち前記第1ファイルに続く箇所を順次、第2ファイルとして第2記録媒体に記録するステップと、

前記第2ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報を前記第1ファイルと関連付けて前記第1記録媒体に記録するステップと、

前記第1ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報を前記第2ファ

イルと関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと

前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDを前記第1ファイルに関連付けて前記第1記録媒体に記録し、前記識別IDを前記第2ファイルに関連付けて前記第2記録媒体に記録するステップと
5

をコンピュータに実行させる記録プログラム。

29. 記録先を前記第1記録媒体から第2記録媒体に切り替えるか否かを判断するステップと、

記録先を前記第1記録媒体から前記第2記録媒体に切り替えるステップと

10 をさらに含むことを特徴とする請求項28に記載のコンピュータに実行させる記録プログラム。

30. 前記第1管理情報は、前記第2記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報であって、前記第2管理情報は、前記第1記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報であることを特徴とする請求項26から2
15 9のいずれか一項に記載の記録プログラム。

31. 請求項26から30のいずれか一項に記載の記録プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

32. (補正後) 複数の記録媒体を装着し、前記各記録媒体に記録されている複数の映像ファイル又は音声ファイルを再生する再生装置であって、

20 第1記録媒体に記録された第1映像又は音声ファイルを再生する際、前記第1記録媒体に記録されている前記第1映像又は音声ファイルに連続して再生すべき第2映像又は音声ファイルに関する第1管理情報を読み出して、前記第2映像又は音声ファイルが記録されている第2記録媒体を特定し、

25 前記第1記録媒体から、前記第1映像又は音声ファイルと関連付けられた識別IDを読み出して、前記第1映像又は音声ファイルと前記第2映像又は音声ファイルに共通した連続するストリームを特定し、

前記第1映像又は音声ファイルに引き続いて、前記第2記録媒体から前記識別IDと関連付けられた前記第2映像又は音声ファイルを読み出して連続再生する、再生装置。

33. (補正後) 複数の記録媒体を装着し、前記記録媒体に記録されている複数の映像ファイル又は音声ファイルを再生する再生装置であつて、

第1記録媒体に記録された第1映像又は音声ファイルを再生する際、前記第1記録媒体に記録されている前記第1映像又は音声ファイルに連続して再生すべき第2映像又は音声ファイルに関する第1管理情報を読み出して、前記第2映像又は音声ファイルが記録されている第2記録媒体を特定し、

前記第1記録媒体から、前記第1映像又は音声ファイルと関連付けられた識別IDを読み出して、前記第1映像又は音声ファイルと前記第2映像又は音声ファイルに共通した連続するストリームを特定し、

10 前記第2記録媒体が装着されていない場合は、前記第2映像又は音声ファイルに関する第1管理情報を表示すると共に、

前記連続するストリームを特定する前記識別IDを表示する、再生装置。

34. (補正後) 複数の記録媒体を装着し、前記各記録媒体に記録されている複数の映像ファイル又は音声ファイルを再生する再生装置であつて、

15 前記各記録媒体に記録されている管理情報ファイルを読み出して解析して、連続する一連の映像又は音声のストリームを構成する前記各記録媒体に記録されている映像又は音声ファイルの順番を作成し、

前記各記録媒体から、前記各映像又は音声ファイルと関連付けられた識別IDを読み出して、前記連続する一連の映像又は音声ストリームを特定し、

20 前記各記録媒体に記録されている連続する一連の映像又は音声のストリームを表示して、再生するストリームの指示を受け付け、

受け付けた再生指示に従って、前記映像又は音声のストリームを前記作成した順番に沿って前記各記録媒体から前記映像又は音声ファイルを読み出して連続再生する、再生装置。

25 35. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームが第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割されて第1ストリームが第1ファイルとして記録された第1記録媒体と、前記第2ストリームが第2ファイルとして記録された第2記録媒体とをそれぞれ格納する第1及び第2ドライブと、

前記第1記録媒体から前記第1ファイルの前後のファイルに関する第1管理情報を取り得し、前記第2記録媒体から前記第2ファイルの前後のファイルに関する第2管理情報を取得する管理情報取得手段と、

前記第1管理情報と前記第2管理情報とに基づいて、一連のストリームを構成するように連続するファイルの順番を作成する管理情報処理手段と、
5

前記第1記録媒体から前記第1ファイルに関連づけられた前記識別IDを読み出し、前記第2記録媒体から前記第2ファイルに関連付けられた前記識別IDを読み出して前記連続するストリームを特定し、前記各記録媒体に記録された連続するストリームの組を表示する表示手段と、

10 前記ストリームの組から再生するストリームの選択を入力する入力手段と、
前記入力に従って、前記ストリームを構成するように前記ファイルの順番に沿って連続再生する再生手段と
を備える再生装置。

36. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームが第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割されて、前記第1ストリームから構成される第1ファイルが記録された第1記録媒体と、前記第2ストリームから構成される第2ファイルが記録された第2記録媒体とのうちの第1記録媒体であって、
15

前記第1ファイルと、
20 前記第1ファイルと関連付けられた前記第2ファイル又は前記第2記録媒体に関する第1管理情報と、

前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連続する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDであって、前記第1ファイルと関連付けられた前記識別IDと
25
が記録されている、記録媒体。

37. 前記第1管理情報は、前記第2記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報であることを特徴とする請求項36に記載の記録媒体。

38. (補正後) 特定の識別IDを有し、連続する映像信号又は音声信号のストリームが第1ストリーム及び第2ストリームに時間分割されて、前記第1スト

リームから構成される第1ファイルが記録された第1記録媒体と、前記第2ストリームから構成される第2ファイルが記録された第2記録媒体とのうちの第2記録媒体であって、

前記第2ファイルと、

5 前記第2ファイルと関連付けられた前記第1ファイル又は前記第1記録媒体に関する第2管理情報と、

前記第1ファイルと前記第2ファイルに共通した前記連續する映像信号又は音声信号のストリームの前記識別IDであって、前記第2ファイルと関連付けられた前記識別IDと

10 が記録されている、記録媒体。

39. 前記第2管理情報は、前記第1記録媒体を特定する媒体固有の製造記号番号に関する情報を特徴とする請求項38に記載の記録媒体。